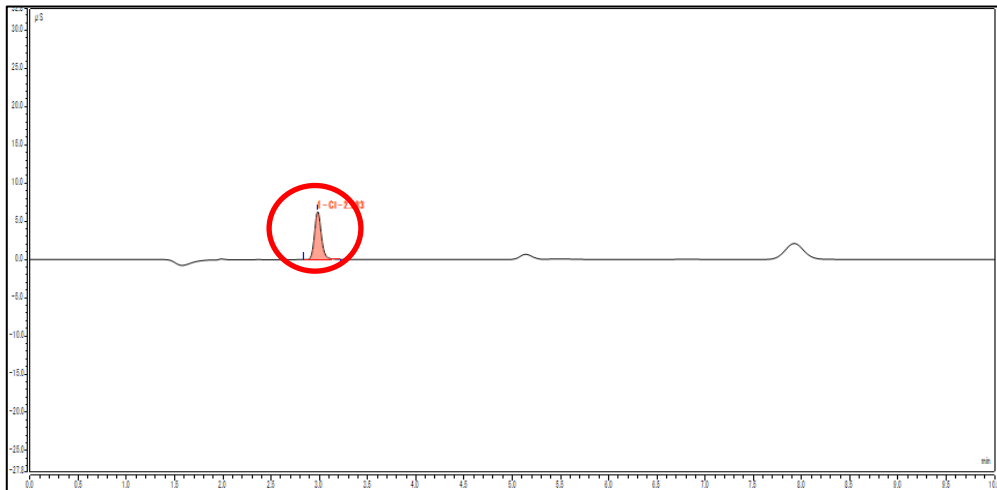


- 目的** 船用潤滑油中に海水が混入したか調査する
- 対象** 船用潤滑油（エンジン油・作動油などの潤滑油、燃料油など）
- 分析項目** 塩化物イオン濃度
- 試験概要** 油中に混入している水（混入水）が、海水に由来するかどうかを調査する。



分離した混入水を、直接パスツールピペットやシリンジを用いて採取する。
また、船用潤滑油が混入水で乳濁（分散）していた場合には、純水を加え、分液ロートを
を用いて採取する。

採取した混入水を、イオンクロマトを用いて塩化物イオンの濃度を測定する。



分析の結果、塩化物イオンの濃度は、30ppm程で非常に低濃度であった。
海水中には約19,000mg/L（1.9%）の塩化物イオンが含まれているので、混入水は
海水由来ではなく、結露水や雨水などと推測された。

